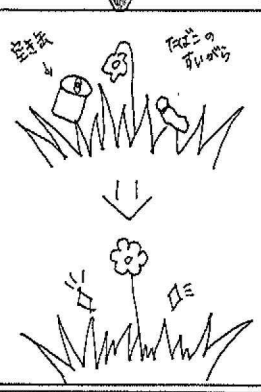
ボランティア新聞

平成26年8月16日

ポイ捨て禁止!!

はじめに

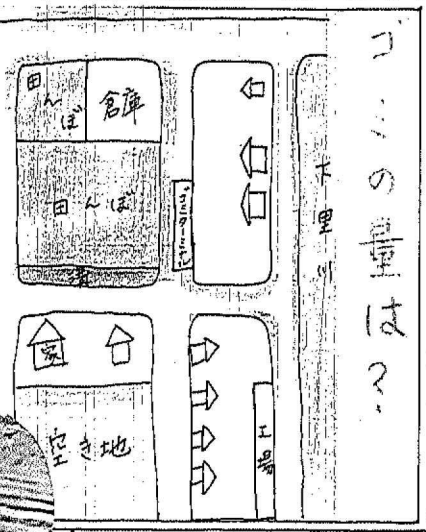
私が、家の周辺のゴミ拾いをしようと思った理由は、今まで家の周辺を掃除したことがなかったので、どれぐらいの量のゴミが落ちているのか知りたかったし、いつも通っている道でも、見えないだけで草むらの中にたくさんゴミがあるかもしれないと思ったので、掃除しようと思った。



活動内容

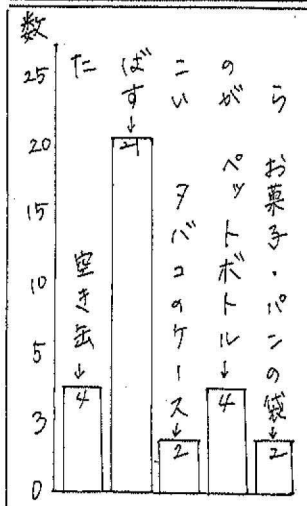
←活動を行った日時
平成二六年八月十六日
場所→家の周辺

ゴミの量は?



→掃除をしたところ
→ゴミがあったところ。集めた結果。←

空き缶→4コ
たばこのすいがら→21コ
たばこのケース→2コ
ペットボトル→4コ
お菓子・パンの袋→2コずつ。棒グラフで表すと。←



。結果から思ったこと。←
ゴミ拾いをした日が、盆踊りの次の日だったこともあり、たばこのすいがらや、空き缶、ペットボトルのポイ捨てがあったのかなと思った。

動物ニュース

下里川の橋の近くで、ゴミ拾いをしているときに、橋から下を見たときに顔だけを水面から出して泳いでいる動物がいた。その動物が小さな丘に上がったときに撮った写真。←

↑巣穴に入っていく様子。

あまり近づけなかったので、はっきりとは分からなかったけど、写真で見てみると「ヌートリア」であることが分かった。

ヌートリアについて。←
原産→南アメリカ
名称→沼狸(しょうり、ぬまたぬき)など。
「ヌートリア」とは、スペイン語で、カワウソの毛皮を意味している。
分布→南アメリカを原産地とするが毛皮を取るために移入したものが野生化し、現在、北アメリカ、ヨーロッパ、日本などの、アジアに帰化して分布する。
形態→頭胴長40~60cm、尾長30~45cm、体重5~9kgの大型
生態→半水性で、池沼や流れが弱い河川の岸辺の土手などに巣穴を作り、普通は雌雄のペアで生活する。
ニッポニカ百科事典より

感想

このゴミ拾いを通して思ったことは、誰かがポイ捨てをしたときは、きっちりとは片付けない人がいないと、どんどん町が汚くなっていってしまうと思った。たばこのすいがらをポイ捨てしてしまうと、火が消せていなかったら火事が起こってしまうこともある。これから、たくさんの人達がポイ捨てをしないようにするには、一人一人の気持ちと工夫が必要だと思う。車の中や散歩をするときには、スーパーの袋などを常に持っていれば、ポイ捨ては少なくなると思う。この活動を通して、初めて見ることができた動物もいたりして、いろいろな体験をすることができてよかった。